

どんぐり 実生

〒330-0042 さいたま市浦和区木崎3-1-1

埼玉県立浦和西高内 浦和西高斜面林友の会事務局 電話 048-831-4847

メール件名は「斜面林」と記入してください。

入会の申し込み、問い合わせメール 3220028501@jcom.home.ne.jp

『実生』投稿受付 ashinagako@gmail.com

ホームページ <http://unshamenrin.wix.com/un-shamenrin>



《10月4日》 活動内容

天 気：曇り

① 階段の修理

② フェンス沿いの枯れ枝処理

参加人数：24名

今にも雨が降りそうな曇り空



URAWANISHI.SHAMENRIN

Instagram QRコード

①階段の修理

斜面林の階段は何年も経つと傷んでしまいます。この階段も20年以上前に先生と斜面林友の会の方たちが造りました。歴史を感じますね。今日は西高生が頑張って修理してくれました。初めて使う掛矢（杭などを打ち込むのに使う大きな木槌）にとっても苦戦していました。が…、斉藤さんの指導のもと上手にできるようになりました。



②フェンス沿いの枯れ枝処理

見沼代用水のフェンス沿いには枯れ枝が沢山落ちていました。力仕事も厭わない元気一杯おばさんたちがせっせと枯れ枝を階段の上まで運んでいました。頼もしいですね。そこからプール裏へ運ぶのはみんなで頑張りました。フェンス沿いの枕木が落ちているけれど、代替用の材料を検討中です。しばらくはそのままです。



せ～の！
えいや～！

力持ちの
中村さん



見沼田んぼで見つけたフジバカマ

秋の七草の一つです。

秋の七草は、萩(ハギ)、薄(ススキ)、葛(クズ)、撫子(ナデシコ)、女郎花(オミナエシ)、フ藤袴(フジバカマ)、桔梗(キキョウ)

春の七草と違いお粥にして食べることはありませんが、薬効として使うことがあるそうです。

10月斜面林で見つけた植物



ゴンズイ
ミツバウツギ科の落葉樹
最初は緑の実で段々赤み
が増し、実が熟すと中か
ら黒い種が出てきて
とても目立ちます



ススキ
イネ科の多年草で冬には
枯れるがとても強い
秋のお月見のお供物として
欠かせません
秋の七草の一つ
根茎に利尿作用があるとか



アサザ
ミツガシワ科の多年草
5~9月に開花
準絶滅危惧に
指定されています
亀池にあるなんて大事
にしなければ！



コマツナギ
マメ科の落葉低木樹
ハギと似た花ですが、違い
は葉の付き方です
コマツナギは7~11枚位で
ワンセット
ハギは3枚でワンセット

〔おがキンちゃんのひとりごと〕

この頃、熊による殺傷事件が相次いでいます。しかも、大都市の市街地にまた出没しては危害を加えます。厄介を通り越して恐怖ですね。では、予防対策はあるかというと、誠に心元ないですね。報道では色々予防法を言いますが、どれも全体像の一部ではないかと感じてしまいます。私が20代の頃、昭和の40年代、都合5年間北海道にて生活していました。その頃も無論、被害がありましたが、現在と比べても牧歌的でした。私が師事した野生動物が専門の教授は、北海道で個体数は600~700頭くらいかなあ…と推定していました。北海道に生息するエゾジカは一時20~30頭にまで激減していたのが、戦後の保護活動の成果で、今や数万頭の規模です。この夏、熊の予防策に関わっていた専門家に聞いたら、今は5000~6000頭かなあ…と。

明らかに個体数が増加しているのです。その分、確率的に熊に遭遇する機会が増えた結果とも言えますが、そうではないでしょう。熊は生活に広い縄張りが必要ですが、古株物は良い場所を占有します。その結果、新参者はその周辺部に追いやられます。勢い、人里にまで出没するようになったと。

おそらく、最大の予防策は数を減らすことだと思います。それには抵抗もあれば金も掛かります。でも、市街地の学校や民家の二階にまで出没する状態では、待った無しですね。自然保護や環境保全は大切だと思う私ですが、矛盾を敢えて承知の上で、人との共存はそれ以外ないと思います。

関西のイノシシやサル、北海道のシカ、千葉県のコヨン（小型の外来シカ）。もはや、森や里を守るための、待ったなしの策を考える時期に差し掛かっているのではないのでしょうか（小川 均）

《2025年度の浦和西高斜面林友の会作業は、基本第2土曜日9:30~11:30に行います》
12月13日（土）、1月10日（土）、2月14日（土）集合は地学教室です。